＜様式Ｃ３-７＞

帯同者渡航費支援申請書

|  |  |
| --- | --- |
| 採用年度 |  |
| 資　　格 | ■CPD |
| 年度受付番号 |  |

令和　　年　　月　　日

独立行政法人日本学術振興会理事長　殿

フリガナ

登録名

　下記のとおり、特別研究員-CPDの主要渡航に帯同する配偶者（パートナー）及び扶養する子に係る渡航支援を申請します。また、下記の記載事項に虚偽がないことを誓約いたします。（注）①

記

１．本申請書により希望する渡航支援の種別（注）②

　　[ ] 往路航空券　／　[ ] 復路航空券

２．渡航期間、渡航先等

※特別研究員-CPD本人の渡航期間、渡航先等と帯同者の渡航期間、渡航先等は同一である必要があります。

　　・渡航期間：（出国日）令和　　年　　月　　日　～（帰国日）令和　　年　　月　　日

　　・渡航先の国名：

　　・渡航区間：　　　　国　　　　　空港　～　　　　　国　　　　　空港

３．帯同者の氏名・続柄

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 氏　名 | 続　柄 |
| ① |  |  |
| ② |  |  |
| ③ |  |  |

|  |
| --- |
| 【受入研究機関の事務局が確認（チェック）してください。】受入研究者の確認：[ ] 確認済部局長（研究機関長でも可）の確認：[ ] 確認済 |

■受入研究機関事務局　問合せ先（受入研究機関の事務局にて記載ください）

機関名・部署名：

メールアドレス：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　電話番号：

（注）

①　主要渡航開始後、本申請書の内容に変更が生じた場合は本会に連絡してください。また、本申請書の内容に虚偽があることが判明した場合には、特別研究員-CPDの資格を喪失し採用を終了するとともに発券済みの航空券に係る費用、及び資格喪失以後に支給した研究奨励金の返還を求めることがあります。

②　一度に往路・復路両方の航空券の発券はできません。復路航空券の支援を希望の場合は、主要渡航終了40日前までに再度本申請書を提出してください。

③　本申請書の内容を本会で確認後、指定旅行代理店の連絡先を特別研究員本人にお知らせします。特別研究員-CPD本人分と併せて指定旅行代理店に「主要渡航往復航空運賃見積依頼書＜様式C3-2＞」により、見積依頼をしてください。